

特定非営利活動法人 ウェル・クラフト 第7回理事会議事録

1. 日 時：2019年1月16日（水） 18:00～19:30
2. 場 所：特定非営利活動法人なごみ らいふふいーんど753 2F研修室
（京都市伏見区竹田北三ツ杭町17番地）
3. 出 席：理事総数：3名
出席者数：3名（うち、書面表決者数：0名）
本人出席者：平野功、中村里美、廣海格
書面表決者：なし
欠席者：なし
オブザーバー出席者：なし
4. 審議事項：
 1. 製造・販売事業
 2. ホームページ更新
 3. 計量検定所立入検査
 4. カーシェアリング事業
 5. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項
 6. 今後の取り組み
 7. 手動車いすの電動化ユニットの開発・宣伝
 8. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み
 9. 地域に根ざした取り組みの推進
 10. 今後の予定
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 1. 製造・販売事業
 - 車いす用体重計
 - Haさんより製作依頼
 - スタンダード180kgタイプ（塗装なし）
 - 車いす用レインコート
 - Kiさんのレインコート最終確認済み
 - 最終の手直しをIさんに依頼済み、未完
 - Koさんのレインコート型紙製作中
 - Yoさんに生地が必要量を出してもらうよう依頼済み

Yoからの連絡待ち

レインコートの縫製の依頼先の確保に向けて

①就労継続支援B型事業所（京都の平均時給額は200円程度か？）

NPO法人 ゆりかもめ（縫製作業をしている、廣海知り合い）など

②総合支援学校

③服飾専門学校

④事業所 夢どり一む

携帯用手動運転装置

モニターをNickのMaさんに郵送済み

在庫用を製作中

車いす電動化ユニット

公道を走れるタイプを製作し走行試験中

介助者操作型電動車いすを認めてもらうための取り組みの検討開始

春頃に鴨川の河川敷を走行してアピールすることを思案中

2. ホームページ更新

製品紹介を見やすく

貸借対照表、議事録等の掲示

有人用大型マルチコプターに興味を示してくれる人が多いので、そのことがきっかけになってNPO法人設立に至ったことをアピールしてみた

3. 計量検定所立入検査

2/13（水）13:00頃～

4. カーシェアリング事業

(1) 事業概要

会員を対象にしたカーシェアリング事業

～車いすでも好きなときに出かけられる自由を！～

(2) 目的

地域の車両及び福祉車両が必要な方が、レンタカー利用と比べて安価で身近に車両を利用できるよう資源を創出する。

(3) 意義（地域・社会貢献活動）

福祉タクシーの利用やレンタカーに比べて利用料の負担が少なく経済的にも軽減されることで、障害者が気軽に外出しやすくなり行動範囲も広がることから、生活の充実に繋がる。

また、家族で普通車の利用を必要している場合は、カーシェアを利用することで車椅

子ごと乗れる福祉車両を新たに購入しなくても良く、必要なときに利用できるため経済負担の軽減になる。

(4)事業内容

①貸出車両

- ・ ウェル・クラフト所有の福祉車両のカーシェア
- ・ 会員所有の福祉車両等のカーシェア

②貸出対象

- ・ 年次ごとの個人または法人会員
- ・ 運転手は会員とする

③会費、利用料金について

- ・ 年会費及び都度使用ごとの使用料の支払い
- ・ 寄付を募る

④利用にあたっての保険について

- ・ 使用者の加入保険（他車運転特約が付いている人に限定）

⑤使用時間等規約

- ・ 特定の者が常時使い他の会員の使用機会の減少にならないよう配慮する
- ・ シェアできる時間や日数について検討していく

⑥管理方法

- ・ 京都市内月極駐車場等利用

⑦利用方法

- ・ 利用申込：インターネット管理もしくは共有できる利用帳等で管理
Facebook や Google のカレンダーの利用方法を検討する
- ・ 鍵受け渡し：キーボックスもしくは事務所預かり
- ・ 当面台数が少ない間はウェル・クラフト担当者が管理する

⑧初期費用

- ・ クラウドファンディング（Readyfor の購入型を利用する）
クラウドファンディングで資金調達の目処が立つようにしたい
クラウドファンディングの申し込み、活用方法について調べる
早急に事業計画書を作成する
クラウドファンディングに問い合わせをする
クラウドファンディング寄付者へのプレゼントを検討する
キーホルダー
ステッカー
Tシャツ（ウェル・クラフトのTシャツを作る）
目標金額の設定
中古車を買う設定で目標金額を抑えて達成しやすくする

目標金額は120万～150万で考える

目標金額を上回った場合は新車を購入することも可能になる

- ・寄付
- ・自己資金

⑨運営費

- ・会費

入会金 円

年会費 円

- ・利用料金

15分あたり 円

1時間あたり 円

1日あたり 円

5. クラウドファンディング利用申し込みにあたっての整理事項

(1) ウェル・クラフトの理念・概要説明

どのような思いで設立し、どのようなメンバーで構成されているか。

理念のキーワード

①繋がる（社会資源、人と人、夢）

道具作り、人のつながり、最終段階の夢は空間移動のできるマルチコプター

②障害者の生活に役立つ、豊かにする

③自分たちで作りに出す、社会貢献

④物理的な物に対してシステム作り（カーシェアもそのひとつ）

(2) 活動状況

活動場所・活動時間

(3) ウェル・クラフトの信頼、客観的評価・アピールポイント

どこから信頼や評価を受けているか

レインコートや体重計の納品先など

(4) クラウドファンディング利用してしたい事、1との関連、合理性

(5) その他、今後法人の展開として考えていること

以上のことを分かりやすく説明できると良いのではないか

言語化、写真での効果的なアピール

6. 今後の取り組み

(1) 手動車いすの電動化ユニットの開発・宣伝

(2) 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み

(3) 体重測定サービス事業をはじめとする地域に根ざした取り組みの推進

(4) レインポッドの開発

ポッド状の透明ビニールシートをかぶるタイプ

介助の人も一緒にかぶるタイプの物も検討中

(5) 車いすごと運べる万能担架の開発

(6) 電動車いす自動走行システムの開発

7. 手動車いすの電動化ユニットの開発・宣伝

開発は最終段階

公道での走行を増やし宣伝する

介助型と合わせメディアで取り上げてもらえるようにする

8. 介助者操作型電動車いすの認可を求める取り組み

バランススクーターを使った電動化ユニットを車いすの後に置く推進式（プッシャー式）と JINRIKI と併用して車いすの前に置く牽引式（トラクター式）の2タイプを開発する

この介助者操作型電動車いすを認めてもらうための取り組みを進める

団体・事業所の賛同を増やす

特区の申請に結びつける

現在は法律上2人乗り電動車いすは認められていない

厚生労働省などへの働きかけを進める

手動車いすと電動ユニットを縦に連結した当事者と介助者の2名が乗る電動車いす
電動車いすが支給されない重度障害者の外出する機会を増やす

9. 地域に根ざした取り組みの推進

障害者・高齢者の健康増進のため、地域の事業所や施設で手軽に体重測定ができるよう車いす用体重計を持参しての訪問活動の取り組みを進める

ただし、正確な値に校正できるよう、校正分銅が必要

10. 今後の予定

第8回理事会 2 / 13 (水) 18:00 ~ 19:30

計量検定所立入検査 2 / 13 (水) 13:00頃～

なごみ春祭り ~~4月頃~~

2019年は「なごみ秋祭り」として9月以降に実施

※下線部分は提案に対する補足や意見

6. 議事録署名人の選任に関する事項

議事録署名人として中村里美、廣海格の2名を選任、承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議 長 平野功 ⑩

議事録署名人 中村里美 ⑩

議事録署名人 廣海格 ⑩